

【大学間協定留学】留学近況報告書

記入日	2025年 10月 24日
留学先大学/国名	アーカンソー州立大学 (日本語名) 国名:アメリカ Arkansas state university(現地言語名)
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2025年8月～2025年12月
明治大学の所属学部等 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部政治学科
学年 ※出発時の本学での学年	2年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

もともと入学時から留学に興味があり、就活やゼミへの影響が少ない 2 年秋に 1 学期間、費用負担が比較的少ない大学間協定留学での渡航を考えていました。2 年次秋の留学は、約 1 年前の 1 年次 10 月には募集が始まるので、それまでに TOEFL または IELTS のスコアを取得する必要があります。自分は情報収集が不十分で、スコア取得のための学習に十分な時間を採れなかったので、留学を考える皆さんには、英語学習は留学を志したその日からスタートすることをお勧めします。また、正式に留学許可が下りると、今度はビザの手配や滞在先、航空券、履修登録などの手配をしていかなければなりません。自分は後回しにしてしまい、トランプ政権の影響によるビザの一時発給停止の時期と重なり、渡航が遅れる可能性もありました。そういう緊急のトラブルがなくても、特に夏にアメリカへ渡航をしようと思うと、大使館での面接予約が大変混雑していてとりづらいので、とにかく早く動き出してください。他も同じです。滞在先も、キャンパス内の寮の空きがない可能性もあります。自分は申し込み時に空きがないことを伝えられ、渡航からしばらくはホテル生活をしていました。航空券も、早く確保することにより安く済みます。履修も、人気のある授業は早く埋まってしまいます。学習面では、学内選考を通過したのちも、政治経済学部開講の ACE をはじめ、オールイングリッシュの授業の履修や、チャレンジ英会話に毎日通う、スマートフォンアプリでの英語学習など、日々学習を続けました。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: J-1 ビザ	申請先: 駐大阪・神戸米国総領事館
ビザ取得所要日数: 約 1 か月 (申請してから何日 / 何週間要したか)	ビザ取得費用: 約 6 万円

1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?

DS2019 または I-20 留学先からメールで送られてきます

DS-160 すごく長いですが、オンラインで記入し提出します。

パスポート

英文残高証明書 保証人の残高を記した、英語の証明書を銀行で申請します。

SEVIS 支払い証明書 ホームページで支払い完了後発行します

英語能力証明書 IELTS のスコアシートを郵送で手に入れました

2. 具体的な申し込み手順を教えて下さい。

留学先から正式な留学許可が下りたのち DS2019 または I-20 を受け取ります。その後、DS-160 をオンラインで記入して提出し、オンラインで面接予約をします。

3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

どこの大学に何か月滞在するか、何を勉強するかなど、簡単な質問を英語で聞かれました。

4. ビザ取得に関して困った点・注意点

夏はとにかく面接予約が取りづらく、渡航予定日まで予約が取れないこともあります。自分は東京で予約ができず、大阪の領事館まで面接を受けに行きました。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送等)。

sim を契約し、携帯を到着後すぐに使えるようにしておくと安心です。現地で日用品の多くは調達できるので、そこまで大荷物で向かう必要はないと思います。現金は visa のデビッドカードであれば大学近くの ATM で引き出せるので、アメリカで口座を開設する必要はないです。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	Japan airline, United airline									
航空券手配方法	JAL 公式サイト ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入									
大学最寄空港名	メンフィス国際空港		現地到着時刻	23 時(遅延)						
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (Uber 利用)					
移動の所要時間	約 30 時間									
空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等										
大学手配のバスが出ていますが、遅延などで間に合わなかった場合は uber で行くしかありません。一日一本だけ直行の公共バスがあります。										
大学到着日	8 月 11 日 8 時頃									

2. 住居について		
到着後すぐに住居入居できましたか?	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	いいえを選んだ方: 9月1日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他(シェアハウス)	
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()	
ルームメイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()	
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()	
住居の申込み手順	housingについてのメールを受け取った後、大学のhousingホームページから手順通りに申し込む	
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか? トラブルはありましたか?		
<p>自分は housing 手続きを後回しにしてしまったこともあり、申し込み時に空き部屋がないと伝えられました。その後、大学と連絡を重ねたのち、キャンパス周辺のアパートを探し、申し込みのため電話やメールを繰り返しましたが、どこも対応が悪く、留守電や、「あとで折り返し連絡する」と言われたまま連絡が来なかったり、メールの返信が全く返ってこなかったりしました。渡航直後はキャンパスから徒歩 1 時間ほどのホテル、モーテルに滞在していましたが、その後、学生コミュニティの SNS にシェアハウスのルームメイト募集しているという投稿を見つけ、9月にようやく入居しました。他の学生に聞いたところ、大学側が生徒を多くとりすぎており、住居が不足している状況であったそうです。自分以外にも、車で 15 分のホテルから毎日 Uber タクシーで通う生徒もいるという話でした。まれなケースだとは思いますが、寮に空きがないということもありますので、早く申し込みをすることをお勧めします。</p>		
3. 留学先でのオリエンテーションについて		
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あつた <input type="checkbox"/> なかつた	
日程	8月11日	
参加必須ですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加	
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)	
内容と様子は?	留学生が集まり、健康診断や大学生活全般についての説明が行われました。	
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あつた <input type="checkbox"/> なかつた	
授業開始日	8月20日から	

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？ いつ、どこで、方法は？ 日数、料金は？ トラブルは？

特になし

2. その他現地でした手続きは（健康診断、予防接種等）？ いつ、どこで、方法、日数、料金は？ トラブルは？

学校の健康診断で血液検査のみを行った。無料。

3. 現地で銀行口座を開設しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？

未開設

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？

イエローモバイルで eSIM 契約

V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に（7月1日頃）オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()到着後に（ 月 日頃）オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることはありましたか？

あった なかつた

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかつた」方はどのように登録しましたか？

授業リストにサイトからアクセスし、空きがある授業を選び、pdfに記入してメールを送ります。

2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？ また希望通りの授業が取れましたか？

授業開始後 1 週間は変更できますが、空きがない授業は選べません。また、留学生は履修変更の手順が少々面倒です。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入

	月	火	水	木	金	土	日
5: 00							
6: 00							
7: 00							
8: 00							
9: 00							
10: 00	起床	起床	起床	起床		起床	起床
11: 00		授業		授業			
12: 00		授業		授業			
13: 00	授業	授業	授業	授業	授業		
14: 00	昼食	授業	昼食	授業	昼食	昼食	昼食
15: 00	課題	昼食	課題	課題	買い物		
16: 00	↓	課題	↓	↓	↓		
17: 00	↓	↓	↓	↓	↓		
18: 00	↓	↓	↓	↓	帰宅		
19: 00	↓	↓	↓	↓			
20: 00	↓	↓	↓	↓		夕食	夕食
21: 00	↓	↓	↓	↓	夕食		
22: 00	↓	↓	↓	↓			
23: 00	帰宅、夕食	帰宅、夕食	帰宅、夕食	帰宅、夕食			
24: 00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般について等、自由に書いてください。

ジョーンズボロでの生活

とても田舎です。周りに娯楽施設などはほとんどありません。最寄りのショッピングエリアまでは uber を使うか、大学から出ているシャトルバスを利用します。歩くと 1 時間弱かかります。勉強に集中しやすい環境ではありますが、都市部に留学している人たちが羨ましいと思うこともあります。時間はたっぷりあるので、休日に観光を楽しみたい人は、都市部や周りに観光スポットが多い大学をお勧めします。観光や娯楽も含めて留学先を選ぶことは決して悪いことではありません。

食事

基本的には大学の食堂を利用しますが、飽きるので、自炊で簡単な料理を作ったりします。レストランは大学周辺に少しだけありますが、どうしても日本と比べると高く感じます。

授業

正直、ついて行けません。自分は政治系、社会学系の、コースナンバー 3、4 の授業を履修していますが、言語の壁を強く感じる内容なので、説明を聞いてしっかり理解できることはほとんどないです。ほとんどが生徒と先生を交えてのディスカッション形式ですが、ネイティブの学生のようには発言出来ないので、基本的には聞きながら、助けられながら参加しています。留学生という配慮をしてもらい、教科書の難しい部分は翻訳アプリを使って読むなどの工夫をしながら、なんとか出席しています。授業の時間自体は短いですが、一つ一つの授業で膨大な予習、課題が与えられます。日々その課題に追われている状況です。時間的な余裕はあるものの、課題の内容が非常に難しく、単に時間をかけなければ解決するというのではありません。自分なりに努力はしていますが、理解が思うように進まないことがほとんどです。特に政治経済学部、文学部の方は、体育や英語の授業も含めて履修する、またはコースナンバー 1、2 の授業を選ぶなど、自分の負担を減らす履修を組むことをお勧めします。

その他

最近はインスタグラムなどで華やかな留学生活を発信する学生やインフルエンサーが多く、留学に対してキラキラしたイメージを持っている人が多いかもしれません。もちろん、そういう生活を送っている人もいると思います。しかし、自分はそうではありません。友達もほとんどいなく、毎日課題に追われて、ただキャンパスと家を往復するだけの生活をしています。特に交換留学、その中でもリベラルアーツ系の授業を英語で受けるとなると、その難易度は果てないです。あまりの難しさと、孤独感に加え、文化や環境の違いによるストレスも相まって、一時は食欲をなくしたり、睡眠に問題を抱えたりと、身体的にも精神的にもつらい時期がありました。しかし、周りの助けを借りながらなんとか生活を続けています。交換留学に興味がある皆さんは、そういった留学のリアルを知っておいてもらいたいです。自分は、留学はつらいことの方が多いと思います。華やかな部分ばかり注目されますが、自分と同じような悩みを持つ人は多いと聞きました。しかし、それでも、授業の内容が少しでも理解できたり、プレゼンを先生に褒められたりしたときには、この上ない達成感と喜びを感じます。貴重な経験になることは間違いないので、これだけつらい思いをしている自分でも、留学に来てよかったです。

迷うなら行く！くらいの気持ちで、家族ともよく相談しながら決断してください。留学を控える皆さんは、ネイティブのスピードについて行けるようなリスニング力と、自分が履修したい授業のトピックについて意見を英語で説明できる力を鍛えておくことをお勧めします。